

エネルギー転換がもたらすエマージング市場の投資機会：インド・東南アジア

本稿は、PGIMフィクスト・インカムのエマージング社債リサーチ・チームのUmar Manzoorが10月14日に執筆したブログ“INVESTING IN ENERGY TRANSITION ACROSS EM: INDIA AND SOUTHEAST ASIA”の内容をPGIM ジャパン株式会社が要約したものであり、情報提供のみを目的として作成されたものです。

<要旨>

- 気候変動に対応するためのエネルギー転換において最も進展が見られるのが、再生可能エネルギーの分野である。1.5℃の気温上昇に抑えるという目標を達成するために、2030年までに年間3.5兆米ドルの投資が見込まれ、そのうち16%（年間5,660億米ドル）は債券市場から資金調達されるとの見通しも示されている。こうした動きは、新興国も例外ではない。
- インドでは政府の積極的な取り組みによって、急速にエネルギー転換が進んでいる。再生可能エネルギー企業は昨年の不況時においても高いビジネス耐性を示したことから、足元では政府系ファンドやグローバル金融機関などの有力投資家からの投資対象となっており、今後も活発な新規発行が予想される。
- 東南アジアでは依然として石炭火力発電が最も安価なエネルギー源であり、再生可能エネルギーへの転換は遅れる見通し。ベトナム、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイなどで再生可能エネルギーへの転換プロジェクトが計画されており、今後、徐々に再生可能エネルギー関連の債券発行が行われると期待される。
- PGIM フィクスト・インカムは、2017年にアジアの債券市場に再生可能エネルギーセクターが誕生して以来、再生可能エネルギー関連銘柄をオーバーウェイトとしてきた。足元ではインドの再生可能エネルギーセクターに魅力があると考えているが、債券毎のストラクチャーや担保に留意した銘柄選別が重要である。

データの出所(特に断りのない限り)：PGIM フィクスト・インカム、2021年10月14日現在。

当レポートは、金融機関、年金基金等の機関投資家およびコンサルタントの方々を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

留意事項

本資料に記載の内容は、PGIM フィクスト・インカムが作成した“INVESTING IN ENERGY TRANSITION ACROSS EM: INDIA AND SOUTHEAST ASIA”をPGIMジャパン株式会社が要約したものです。PGIMフィクスト・インカムは、米国SECの登録投資顧問会社であるPGIM インクのパブリック債券運用部門です。

本資料は、プロの投資家を対象としたものです。すべての投資にはリスクが伴い、当初元本を上回る損失が生じる可能性があります。

本資料は、当グループの資産運用ビジネスに関する情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の勧誘又は販売を目的としたものではありません。また、本案内に記載された内容等については今後変更されることもあります。

本資料に記載されている市場動向等は現時点での見解であり、事前の通知なしに変更されることがあります。また、その結果の確実性を表明するものではなく、将来の市場環境の変動等を保証するものでもありません。

本資料に記載されている市場関連データ及び情報等は信頼できると判断した各種情報源から入手したのですが、その情報の正確性、確実性について当社が保証するものではありません。過去の運用実績は必ずしも将来の運用成果等を保証するものではありません。

本資料は法務、会計、税務上のアドバイスあるいは投資推奨等を行うために作成されたものではありません。

当社による事前承諾なしに、本資料の一部または全部を複製することは堅くお断り致します。

“Prudential”、“PGIM”、それぞれのロゴおよびロック・シンボルは、プルデンシャル・ファイナンシャル・インクおよびその関連会社のサービスマークであり、多数の国・地域で登録されています。PGIMジャパン株式会社は、世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルの一員であり、英国プルデンシャル社とはなんら関係がありません。

PGIMジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第392号
加入協会 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会
PGIMJ85611